

令和 6 年度 ニシン漁獲物調査速報 (2)：小樽地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 1 月 28 日に小樽市漁協で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。小樽市漁協職員の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

小樽地区ではサイズ別に大きいほうから「1 番」、「2 番」、「3 番」という銘柄がありますが、1 月 28 日では、ほとんどが最もサイズの大きい「1 番」の漁獲で、「2 番」と「3 番」の漁獲はわずかでした。これらのうち、「1 番」と「2 番」についてサンプルを得て、測定を行いました。

2. 銘柄「1 番」の結果

銘柄「1 番」の標本 45 尾中、オスが 23 尾、メスが 22 尾でした。メスは不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものが 3 尾（14%）、やや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 19 尾でした（86%）。卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラと流出する（水子）ような個体（熟度 40）はみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、86.5 g（58.7～127.9 g）でした。尾叉長 31 cm 台の個体が多く（図 1）、体重 330～389 g の大型個体が中心となっていました（図 2）。

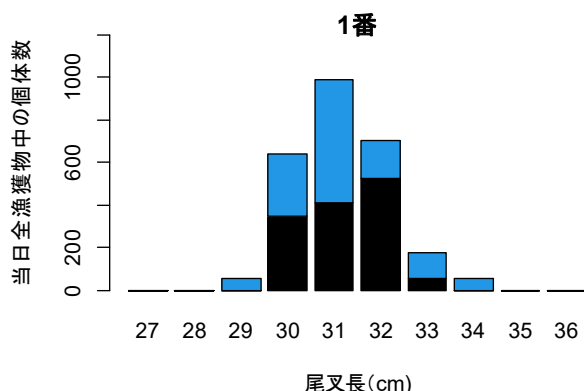


図 1 銘柄「1 番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

オスの精巣は精巣は白濁し肥大しているが、液状の精子は充満していない状態（熟度 20）のものが 22 尾（96%）、放精中と思われ収縮し始めているもの（熟度 30）の個体が 1 尾（4%）でした。

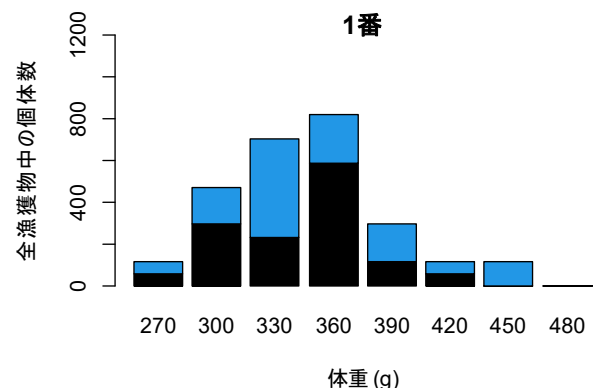


図 2 銘柄「1 番」の体重（黒：オス、水色：メス）

3. 銘柄「2 番」の結果

銘柄「2 番」の標本 53 尾中、オスが 30 尾、メスが 23 尾でした。メスは不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）であったものが 1 尾（4%）、やや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 22 尾でした（96%）。卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラ

と流出する（水子）ような個体（熟度 40）はみられませんでした。平均卵巢重量（最小～最大）は、66.6 g（51.6～89.0 g）でした。尾叉長 30 cm 台の個体が多く（図 3）、体重 300～329 g の大型個体为中心となっていました（図 4）。

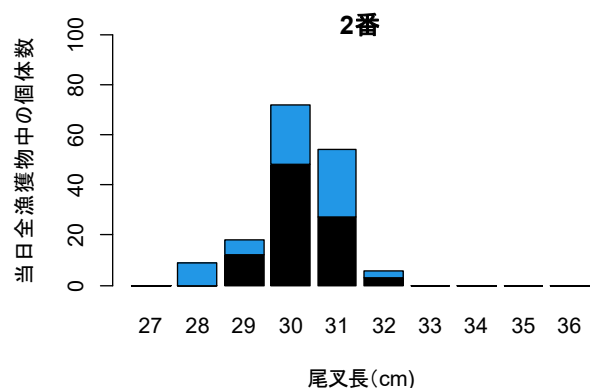


図 3 銘柄「2 番」の尾叉長組成（黒：オス、水色：メス）

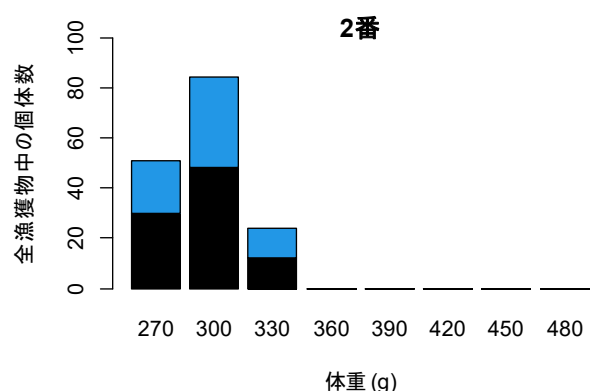


図 4 銘柄「2 番」の体重組成（黒：オス、水色：メス）

※メスの熟度について

- 10：未成魚
- 21：成魚だが卵巢は未発達でリボン状
- 22：成魚。卵粒は認められるが、白みがかった
- 30：成魚。卵は成熟期に入り半透明だが水子ではない
- 40：放卵中。卵はすべて半透明で水子状態。
- 50：放卵後。